

**言語技術の効果的な活用・言語活動の充実を図った
数学科の授業実践例**

三次市立三良坂中学校

- 1 学年・単元名 第1学年 比例と反比例
- 2 本時の目標 比例の見方や考え方をを用いて問題を効率よく解決することができる。
- 3 本時の工夫点 問題を多角的な視点から分析して考察させる場面や、根拠を明らかにし自分の意見を表現させる場面を設定する。
- 4 学習の展開

学習活動	指導上の留意事項	評価規準 (評価方法)
学習目標 比例の考え方をを使って、くぎの重さを求めよう。		
<p>1 くぎの重さがその本数に比例する理由を発表する。</p>	<p>情報を正しく伝える技術 他人を説得させることができるように筋道を立てて説明する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既習の学習とつなげて、例の特徴(xの値を2倍,3倍...にすると,yの値が2倍,3倍...となる)を確認する。 ・できるだけ早く調べたい設定であることを伝える。 ・予想タイムを取り,3つのうちのどの方法で解くかを選ばせる。 	
<p>2【課題提示】 「くぎが20本で40gのとき,100本の重さを求め。」</p> <p>表・グラフ・式のどの方法で求めるか見通しを持たせ,実際に求めてみる。また,その過程の説明を考える。 (個人思考)</p>		
<p>3 全体へ発表する。</p>	<p>情報を正しく伝える技術 ・他人を説得させることができるように根拠を示し,筋道を立てて説明する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表・グラフ・式の順に発表させる。 ・論理的なつながりを明確にさせ,分かりやすく表現させる。 ・前の人意見をつなぐ発表を意識させる。 ・一人一人の考え方の良い所を評価する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・比例の見方や考え方(表・グラフ・式)を活用して考察することができる。 (発表・ワークシート)
<p>4 類題を解く。</p>	<p>情報を的確に分析する技術 ・学んだ見方や考え方を類題に活用させることで思考を深め,定着を図る。</p>	
<p>5 まとめ 授業の振り返り 次時の予告</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自己評価カードを使い,自分の言葉で振り返らせる。 	